

令和8年1月29日

セットポジションの投手に関する規則改正（ハイブリッド）について

公益財団法人全日本大学野球連盟
公益財団法人日本高等学校野球連盟

5. 07(a)(2)【原注】（破線部追加）

塁に走者がいるときに、投手が投手板に軸足を平行に触れ、なおかつ自由な足を投手板の前方に置いた場合には、この投手はセットポジションで投球するものとみなされる。

ただし、打者が打席に入る前に、投手がワインドアップポジションで投球する旨を審判員に伝えた場合には、前述のような投球姿勢であったとしても、ワインドアップポジションとして投球することができる。

投手は、打者が打撃中であっても、(i)攻撃側チームにプレーヤーの交代があったとき、または(ii)走者の位置が変わったときは、次の投球を行う前であれば、審判員にワインドアップポジションで投球する旨を伝えることができる。

【注6】ワインドアップポジションとして投球する旨を審判員に伝えた後であっても、攻撃側チームのプレーヤーが交代したり、走者の位置が変われば、セットポジションに戻すことができる。

【注7】アマチュア野球では、セットポジションに戻すときも、審判員にセットポジションで投球する旨を伝えなければならない。

1. 申告の手順について

- ① 当該投手は、打者が打席に入る前に球審に口頭で伝える。
- ② 球審は他の塁審およびプレーヤー、両チームのベンチに対して投球姿勢が変わる旨のサインを示す。このサインの明示をもって投球姿勢の変更が確定する。

2. 球審によるサインの明示

- ① セットポジション⇒ハイブリッド（セットポジションの姿勢）によるワインドアップポジションへの申告があった場合のサイン
 - ・球審は『両手を身体の前面で合わせて頭頂部へ振りかぶる動作』をジェスチャーで示す。
- ② ハイブリッド（セットポジションの姿勢）によるワインドアップポジション⇒セットポジションに戻す申告があった場合のサイン
 - ・球審は『両手を身体の前面で合わせてそのまま保持する姿勢』をジェスチャーで示す。

3. 留意点

打者が打撃を完了すれば、「ハイブリッド（セットポジションの姿勢）によるワインドアップポジション」での申告による効力は解消され、次打者に対しても同様にハイブリッドによる投球を行う場合は、投手は、次打者が打席に入る前に球審に口頭で伝える必要がある。この投手がセットポジションに戻して投球する場合には、球審に伝える必要はなく、打者が代われれば申告していたものはリセットされることに留意する。

運用としては、下記のように取り扱いをする（①・②いずれも同一打者のとき）

- ①「ハイブリッド → セットポジション → 再度のハイブリッド」について、走者の位置が変われば再度のハイブリッドも可能で球審に申告する。同一打者のときには、セットポジションに戻すときも球審に申告をする。

（例） 1アウト走者2・3塁 ➡ 3塁けん制アウトで2アウト2塁 ➡ 盗塁で2アウト3塁
ハイブリッド ➡ セットポジション ➡ ハイブリッド

- ② 打撃中に「セットポジション → ハイブリッド」

（例） 2アウト2塁 ➡ 盗塁で2アウト3塁
セットポジション ➡ ハイブリッド

以 上